

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公表番号】特表2000-513896(P2000-513896A)

【公表日】平成12年10月17日(2000.10.17)

【出願番号】特願平10-529179

【国際特許分類第7版】

H 04 B 1/26

H 04 B 1/16

H 04 N 5/44

H 04 N 5/45

【F I】

H 04 B 1/26 C

H 04 B 1/16 G

H 04 N 5/44 K

H 04 N 5/45

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月11日(2005.1.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年1月11日



特許庁長官 殿

1 事件の表示

平成10年特許願第529179号

2 補正をする者

住所 オランダ国 5621 ベーアー アインドーフェン

フルーネヴァウツウェッハ 1

名称 コーニンクレッカ フィリップス エレクトロニクス

エヌ ヴィ

3 代理人

住所 〒108-8507 東京都港区港南2丁目13番37号

フィリップスビル 日本フィリップス株式会社内

氏名 (8778)弁理士 津軽 進



4 補正対象書類名

明細書

5 補正対象項目名

請求の範囲

6 補正の内容

別紙の通り



(別紙)

請求の範囲

1. 相互に異なる信号を同時受信する少なくとも2つのチューナを備える受信機であって、これら少なくとも2つのチューナが1つのモジュール内に合併されていることを特徴とする受信機。
2. 前記2つのチューナの各々が、無線周波数での信号を中間周波数へ変換するミキサに結合されている発振器を有しており、前記2つのチューナの各々における前記発振器が、各他方のチューナによって受信される信号の無線周波数、或は該無線周波数の如何なる低調波にも一致しない発振周波数を有することを特徴とする、請求項1に記載の受信機。
3. 前記2つのチューナの内の少なくとも一方における前記発振周波数が、各他方のチューナが受信できる可能性がある最も高い無線周波数を越えていることを特徴とする、請求項2に記載の受信機。
4. 前記2つのチューナにおける発振周波数間の差が、中間周波数帯域幅を越えていることを特徴とする、請求項2に記載の受信機。
5. 前記2つのチューナの内の少なくとも一方が、前記発振器及びミキサ間に結合されている周波数ディバイダを有することを特徴とする、請求項2に記載の受信機。
6. 前記周波数ディバイダが調整可能分割係数を有することを特徴とする、請求項5に記載の受信機。
7. 前記ミキサ及び周波数ディバイダが集積回路の一部を形成していることを特徴とする、請求項5に記載の受信機。
8. 各々が無線周波数での信号を中間周波数へ変換するミキサに結合された発振器を有して、相互に異なる信号を同時受信する2つのチューナを備える受信機であって、前記2つのチューナ各々の発振器が、各他方のチューナによって受信される信号の無線周波数、或は該無線周波数の如何なる低調波にも一致しな

い発振周波数を有することを特徴とする受信機。

9. 無線周波数での信号を中間周波数へ変換するミキサに結合された発振器を各々が有する少なくとも2つのチューナによって、相互に異なる信号を同時受信する方法であって、前記少なくとも2つのチューナ各々の発振器を、該少なくとも2つのチューナの内の方によって受信される信号の無線周波数、或は該無線周波数の如何なる低調波にも一致しない発振周波数で動作させる段階を含む方法。

10. 請求項1に記載の受信機を備えるマルチメディア装置。

11. 請求項1に記載の受信機を備えるアドオン・カードであって、マルチメディア装置の一部の形成に適合したアドオン・カード。

12. 相互に異なる信号を同時受信する少なくとも2つのチューナを備える单一の遮蔽ケージング。